

令和元（2019）年度大学院教育学院博士後期課程10月入学者入学試験問題

英語 学校教育論

（100点満点）

問題 次のページからの問題文を読んで、次の問1～3のすべてに答えなさい。

問1 枠①について、誰が何についてどのようなことを述べているのか、要約して日本語で述べなさい。（字数制限なし）

問2 枠②について、日本語に訳しなさい。

問3 枠③について、日本語に訳しなさい。

（問題文の出典 Tetsurō Takasaki, *William Wheeler : a young American professor in Meiji Japan*, translated by Kazue E. Campbell, Sapporo: Hokkaido University Press, 2009)





令和元(2019)年度大学院教育学院博士後期課程 10月入学者入学試験問題

英語 教育心理学講座

(100点満点)

下記の問題1と問題2のうち、1つを選んで答えなさい。

問題1 以下の問いに答えなさい。

問1 認知心理生理学分野の論文における序論の前半・中間部分を示す。文中の鍵となる用語を4つ挙げて、それぞれについて述べられていることを日本語で説明しなさい。

問2 同じ論文の序論の終盤部分を示す。この研究の問題、目的、仮説についてそれぞれ日本語で説明しなさい。

出典：Seibold, V.C., & Rolke, B. (2014). Does temporal preparation speed up visual processing? Evidence from the N2pc. *Psychophysiology*, 51, 529-538.

問題2：下記の文章は、Baumeisterらの自尊感情に関する研究のレビューの一部である。この文章を読み、下記の問いにすべて答えなさい。

[出典]

Baumeister, R.F., Campbell, J.D., Krueger, J. I., & Kathleen, D. V., (2003). Does High Self-esteem Cause Better Performance, Interpersonal Success Happiness, Or Healthier Lifestyles? *Psychological Science in the Public Interest*, 4, 1-44.

問1 これまでの自尊感情研究に対する著者の立場とはどのようなものであるか。著者がその根拠としてあげている研究知見をできるかぎり参照しつつ日本語で論じなさい。

問2 下線部の箇所を日本語に訳しなさい。

問3 全体の議論をふまえ、今後、自尊感情研究およびそれにもとづく実践に必要な視点とはどのようなものか、あなた自身の考えるところを日本語で述べなさい。